



平成28年度 学校経営計画  
 <三鷹の森学園三鷹市立第五小学校の教育推進プラン:概要>

目標 自立の基礎を培う ーたくましく、豊かに生きぬく力を育てるー

義務教育の目的（教育基本法第2章、第5条の2）

各個人の有する能力を伸ばしつつ社会において自立的に生きる基礎を培う。 国家及び社会の形成者として必要とされる基本的な資質を養う。

三鷹市教育ビジョン2022 人間力・社会力を身に付けた子どもの育成  
 三鷹「学び」のスタンダード（学習習慣、家庭学習）

三鷹の森学園の教育目標

地域とともに生き、豊かな学力と人間力・社会力を有し、国際社会に貢献できる児童・生徒を育成する。

三鷹市立第五小学校の教育目標

心身ともに健康で、互いに協調しながら、国際社会をたくましく生きる児童を育成する。  
 つよく(進んで心と体をきたえる子) やさしく(思いやりの心もち、互いに認め合う子) かんがえふかく(自ら学び、考え、行動する子)

目標

経営課題

<p><b>〈教員〉</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・担任 20 ・専科 5</li> <li>・講師 5</li> <li>* 新人育成教員 1</li> <li>* 育休代替 2(7/6 3)</li> <li>* 本校初任 6</li> <li>* 主幹教諭 2</li> <li>* 指導教諭 1</li> <li>* 主任教諭 4</li> </ul> <p>⇒若手の育成                  ⇒シラダーの参画</p>	<p><b>〈児童〉</b> 在籍 554名</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学力 国、都の調査平均正答率 五小&gt;国、都児童アンケート 肯定的回答                      「学校の授業はよくわかる」肯定90%                      考えを自信をもって表現する力の向上に課題</li> <li>・体力 握力、投てき力(女子)に課題、都以上75%</li> <li>・教育支援 授業、環境のUD、より適切な支援</li> <li>・自己貢献感 「人の役に立っていると思う」69%</li> <li>・生活指導 「自分から進んで挨拶している」85%                      いじめ防止、危険回避(ネット、事故等)</li> </ul> <p>⇒学力 論理的に思考する子供を育てる                  ⇒体力 体育指導の充実 遊びの活性化                  ⇒健全 自律 自己貢献感 人間関係形成力</p>	<p><b>〈学校関係者評価〉</b> 全般的に高評価</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学力 学びのスタンダードの更なる理解・定着分かる・できる授業の推進。                      ⇒指導の工夫と個への配慮、家庭学習工夫</li> <li>・運動 CS委員会の協力                      オリンピック・パラリンピック教育                      シッティングバレー等の提案                      ⇒地域子どもクラブ、CS委員会との連携</li> <li>・生活 挨拶はこれからも大切に。                      ⇒気持ちの良い挨拶をする態度の育成</li> <li>・キャリア・アントレプレナーシップ教育が分かりにくい。                      ⇒学校の取組が分かる情報発信</li> </ul>
---	---	--

2030年の社会と、その先の豊かな未来を築くための初等中等教育が果たす役割

経営方針

□課題の共有と目標の一致	広い視野で教育の大きな流れの把握、課題の共有と目標の一致
□義務教育9年間の連携	学園・学校の交流・研究・評価の組織・内容の関連付、円滑化
□同僚性・協働性・当事者意識	開かれた教室・同僚との学び合い・OJT、チームで解決、建設的に提案
□未然防止、初期対応	健全育成は先手充実で問題の未然防止、丁寧な初期対応の徹底
□家庭・地域・専門機関と連携	家庭・地域の人財・文化財・自然環境、組織、専門機関の活用と連携

**地域とともに魅力ある学校づくり**

方策

<p><b>学園・学校運営</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○学園運営の円滑化</li> <li>・学校の特色を生かす研究組織</li> <li>・小6・中1の円滑な接続</li> <li>・コーディネータ・四部会長による運営の理解・協力</li> <li>○校務改善(校務分担の整理、明確化、効率化)</li> </ul>	<p><b>地域の力を生かした運営</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・CS委、PTA、青少対、交通対、多世代委、町会との連携</li> <li>・キャリア教育の充実(地域の特色を生かし、社会とのつながりを意識した体験的学習)</li> <li>・地域行事への参加、交流</li> <li>・オヤジの会、住協、まつり等</li> <li>・情報発信の工夫</li> </ul>	<p><b>人間力・社会力の育成</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・道徳授業の実践と充実</li> <li>・人間関係づくり・貢献活動とメタ認知、自己貢献感の育成(スマイル班、生活科、総合、学級活動、委員会、係、ボランティア、高齢者や園児との交流)</li> <li>・オリ・パラ教育と多様性の尊重</li> </ul>	<p><b>学力の向上</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・言語能力向上拠点校</li> <li>「論理的に思考する子供」</li> <li>・授業・教室環境のユニバーサルデザイン、言語環境</li> <li>・研鑽(研究、研修の充実)</li> <li>・美しい日本語、英語インプット</li> <li>・三鷹学びのスタンダード活用</li> <li>・都ペーシクトリル、アップタイム</li> </ul>
<p><b>小・中一貫教育の活動</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「特別の教科道徳の授業づくり」授業研究</li> <li>・子供同士の交流(自然教室、水泳交流、児童・生徒会、プレ中、部活体験等)</li> <li>・相互乗入授業(体育、英語、理科)</li> </ul>	<p><b>安全・安心</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・安全指導・点検の重視、危険予知、回避能力の育成</li> <li>・事故(服務、食物等)未然防止と適切な対応のためのシステム向上と管理・監督、研修)</li> <li>・緊急対応(避難訓練、メール配信、引渡基本、地域防災)</li> </ul>	<p><b>健全育成</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・いじめ防止基本方針年間計画(ふれあい月間、SC面接等)</li> <li>・気持ちのよい挨拶</li> <li>・生活指導上の問題解決をチームで行う(関係者、管理職、生活指導部、SC、SSW、子家セン、民生委員、医療、保健所、児童相談所等)</li> <li>・ネットトラブル防止と家庭の啓発</li> </ul>	<p><b>体力の向上</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・オリ・パラ教育推進</li> <li>・6年: 三中から体育乗入</li> <li>・5年: 投てき力指導講師</li> <li>・体力テストの工夫(指導)</li> <li>・1校1取組(持久走、縄跳)</li> <li>・遊び(地域子どもクラブと連携)</li> <li>・水泳地域協力者との児童理解・指導の共有(25m完泳)</li> </ul>

## 1 目標 自立の基礎を培う ーたくましく、豊かに生きぬく力を育てるー

学校教育の基本的な使命は …

- 一人一人の自己実現、個人の資質・能力の向上の観点から、  
人格の完成を目指し、個人の能力を伸長し、自立した人間を育てること
  - 国家・社会の存立、国際社会の一員としての観点から、国家・社会の形成者としての資質を育成すること
- 義務教育の基本的な役割は …
- 人間として、家族の一員として、さらには社会の一員として、国民として、  
共通に身に付けるべき基礎・基本を習得させること
  - 社会的自立に向けて「知・徳・体」の調和のとれた基本的な能力を習得させ、  
生涯にわたる学習や職業・社会活動の基盤を形成するとともに、個性・能力を発見・伸長していくこと

学習指導要領の理念は … 「生きる力」をはぐくむこと

新しい学習指導要領は … 21世紀の社会を生き抜くという視点に立った審議

様々なキーワード: 意味や関係性、背景を捉え、理解を進めておく

「グローバル化」「ICT化」「温暖化」「少子高齢化」「21世紀型能力」「汎用的な資質・能力」「キー・コンピテンシー」  
「論理的思考力・表現力・探究心」「持続可能な開発のための教育」「批判的思考力」「アクティブ・ラーニング」

三鷹市の教育ビジョンは … 一人一人の子供に人間力と社会力を育成すること

## 2 基本方針

### (1) めざす学校像

子供、保護者、地域から信頼され、子供たちのたくましく、豊かに生きぬく力を育てる学校

#### ○自らの教室を開き、同僚と学び合う - 同僚性 -

プロフェッショナルとして仕事をする。子供の学力を保障し、心身の健やかな成長を支える力量を誰もがもつ学校を目指す。そのために、相互に謙虚に向上心をもって学び合う学校風土を高める。OJTを計画的に実施。

#### ○組織で解決する - 協働性 -

問題を未然防止し、早期発見し、早期解決するような仕組み、システムが組織的に構築され、運営されていることが、組織を強くし、活性化する。問題が起きるのは、教職員個々の力量だけではなく、組織のシステムを改善する必要があるということである。問題の対応はチームであたり、解決するまで取り組む。

#### ○建設的に提案する - 当事者意識 -

よりよい学校づくりには、課題を自分事としてとらえ、発想豊かに提案することが欠かせない。いくつものアイデアをもとに取捨選択し、検討する中で、建設的な取組を実行していく。

### (2) 目指す子供像

6年生の姿が五小のめざす子供像を示し、リーダーシップを発揮するように育てていく。

- |         |                                      |
|---------|--------------------------------------|
| つよく     | 進んで心と体をきたえる子(健康・実践)                  |
| やさしく    | 思いやりの心を持ち、互いに認め合う子(友愛・協力・相互尊敬・自己貢献感) |
| かんがえふかく | 自ら学び、考え、行動する子(自発・自律・論理的思考・表現・創造)     |

### (3) めざす教師像

- ① 人権感覚を磨く 子供の言葉に耳を傾け、子供との相互尊敬、相互信頼の関係を築く。  
「児童理解」とともに、自分を客観視する「教師理解」も必要である。  
「服務」を守ることは、子供の「人権」を守ることである。
- ② 自立した大人 子供の社会的自立に向けて、教師が社会の一員としての自立した大人の身近なモデルとなる意義は大きい。自らの言動に気を配り、子供を幼児扱いせず、TPOに応じた言葉づかい、振る舞い、身だしなみができるように育てる。
- ③ 子供と共に 進んで気持ちの良い挨拶を交わし、子供と共に遊び、食べ、清掃する。
- ④ 学び続ける 向上心をもって研鑽し、「分かる・できる・かかわる」授業を実践する。
- ⑤ ネバーギブアップ 粘り強く、柔らかくしなやかな発想で、前に向かっていく。

### 3 具体的方策

#### (1) 学園・学校運営、小・中一貫教育

##### ○学園会議の円滑化

- ・健全育成 学園の生活指導の重点を共有し実施する。中学進学時の引継を関係教職員で丁寧に行う。
- ・学力向上 小・小、小・中の連携のもと、研究・研修を共有し授業力づくりに取り組む。  
学園研究「特別の教科道德の授業づくり」に取り組む。
- ・校務分掌 小・中一貫コーディネータ、四部会を核とし、各校の分掌組織を生かした運営を行う。
- ・人の交流 自然教室、水泳交流、児童・生徒会、プレ中、部活動体験で子供同士の交流を深める。  
相互乗入授業では、中1理科、中2英語、小6体育、小6英語を実施し、円滑な接続を図る。

##### ○校務の改善

- ・校務分担 各校務の関連性、業務の流れ等の効率化を図る。
- ・組織連携 主幹、主任を核とした運営、起案システムを活用した校務組織のネットワークの連携を図る。
- ・会議効率化 共有フォルダを活用した会議、回覧板による情報共有、目的を明確にした職員夕会を実施する。
- ・文書資料 断捨離。適正な情報管理。

#### (2) 地域の力を生かした学校運営

##### ○地域社会と連携した教育活動の展開

- ・井の頭の地域の文化・自然・人財を活用した授業を全学年で行う。ゲスト・ティーチャーや地域教材を開発する。

##### ○地域の特色を生かしたキャリア・アントレプレナーシップ教育の充実

- ・多様な体験的学習を通して地域の人や心、生き方に学ぶ授業を実施し子供のキャリア発達を促す。
- ・目標に向かい、計画、実施、評価、改善、再実施といった過程を通して、問題解決の力を育てる。

##### ○地域行事への積極的参加

- ・オヤジの会(防災キャンプ、五小まつり、卒業祝イベント)に参加する。
- ・PTA、青少年対策委員会、交通対策委員会、地域子どもクラブ、井の頭住協、町会等との連携を深める。

##### ○CS委員会との連携・交流

- ・花いっぱい運動、ソフトバレーボール大会、イングリッシュキャンプ、漢字検定、コンサート等

##### ○情報発信の工夫

- ・学校生活の様子、研究、安心・安全等の内容を工夫し、HPでタイムリーに発信する。

#### (3) 安全・安心

##### ○安全指導の重視

- ・井の頭の道路、住環境等の課題を考慮し、具体的な指導を通して子供の危険予知、回避能力を育成する。

##### ○緊急対応に備える

- ・災害、事件、事故発生時は保護者または代理人に確実に子供を引渡す。集団下校は実施しない。
- ・災害時の通信不可、管理職不在、放課後等の多様な想定を避難訓練と安全点検、環境整備に生かす。
- ・事故発生時には、報告・連絡・相談を徹底し、早期解決と再発防止に努める。
- ・避難場所、避難所として地域防災組織と連携・協力する。

##### ○食物アレルギー事故の未然防止と迅速な対応の徹底

- ・食物アレルギー対応をマニュアルに沿って組織的に行う。アレルギー以外の対応も明確にする。
- ・食物アレルギー対応研修を全教職員で2回以上行う。第1回は、4月の始業式より前に実施する。

##### ○服務事故防止の徹底

- ・事故防止の観点から、法令遵守の手続き、個人情報管理の徹底、職員室の整理・整頓を行う。
- ・服務研修を計画的に行う。(情報の管理、交通事故、体罰、猥褻行為、会計事故、通勤経路等)

##### ○問題解決のシステム

- ・問題の予防・発見・解決が速やかに徹底して行われるためにシステムを絶えず見直し機能向上を図る。
- ・問題の解決はチームであたり、解決するまで取り組む。
- ・多様な勤務体系の職種の方々との対話や理解・連携・協力を大切にする。

#### (4) 人間力・社会力の育成、健全育成

##### ○道徳教育の計画的な実施

・重点内容項目を「友情・信頼・相互理解・寛容」とし、よりよい生き方を実践する心と態度を育てる。  
道徳授業地区公開講座では、授業の内容項目とする。

・資料(文部科学省「わたしたちの道徳」、東京都道徳教育教材集、副読本)や教材の活用を工夫する。

##### ○自他の生命の尊重、相互尊敬、相互信頼、相互協力の温かい人間関係、自尊感情

・学級活動等で心理学や児童文化の手法を活用し人間関係を育てる。GE、ピア・サポート、ライフ・スキル、グループ・ワーク、PA等

・スマイル班や当番・係・委員会の活動で「人のためになる活動」を行い「人の役に立つ喜び」を実感させる。

・生活科、総合を中心に、園児や高齢者、地域の方と交流する活動、自他の成長を振り返る活動を行う。

##### ○いじめ防止基本方針に基づく年間計画の実施

・年間計画に基づき、5年生のSCによる全員面接、ふれあい月間のアンケート、毎月のいじめ発見シート、  
弁護士会法教育等の取り組みを行い、いじめ、不登校等の問題行動の予防と発見、対応に努める。

・インターネットのトラブルから身を守るための授業を全学年児童、保護者に向けて実施する。

##### ○朝のスタート

・「あいさつ運動」では、子供のボランティア精神を大切にする。気持ちの良い挨拶が響き合う学校をつくる。

・担任は教室で子供を迎え、専科は、昇降口で出迎え、安心感のあるスタートを切らせる。

##### ○児童理解のアンテナ

・教職員同士、保護者、地域の方との対話を心がけ、児童理解のアンテナを広く、高くもつ。

・高学年一部教科担任制を実施し、児童理解と学級・学年経営にいかす。

##### ○自立を育てる生活・学習の規律

・「五小のやくそく」を生活・学習の五小スタンダードとして共有し、指導を徹底する。

・美しい日本語を遣う指導をする。敬語、一人一人の名前を大切に、敬称をつける。幼児語をつかわない。

##### ○環境整備

・教室掲示は横、後ろに。タイムリーな掲示、清掃、花壇整備等を通して、清新な気持ちと豊かな情操を育てる。

#### (5) 学力の向上

##### ○論理的に思考し表現する子供を

・国語科を重点教科とし、言語能力向上拠点校の研究を推進する。

・授業研究、言語環境、読書活動の工夫と充実を図る。

##### ○全ての子供が分かる・できる・かかわり合う授業づくりはこれからも基本とする。

・学習指導要領の目標、内容を、全ての子供が達成するように授業時数を確保し指導をする。

・教育支援の視点を指導の工夫、個別の配慮に生かし、授業のユニバーサルデザインに取り組む。

##### ○授業研究を核とした学年会

・教材や指導法の工夫、週毎の指導計画の作成、ねらいを明確にした授業の準備・評価・改善を行う。

##### ○言語環境の充実、基礎基本の定着

英語インプット、読書、美しい日本語、アップタイムと東京BDの活用。

##### ○三鷹市「学び」のスタンダード

学習習慣、生活習慣の向上を図る。

##### ○授業規律の確立

時間を守る、聴く姿勢、正しい言葉遣い、適切な持ち物。

#### (6) 体力の向上

##### ○リビッック・パリンビッック教育推進

スポーツに親しむ、国際感覚、多様性、ボランティア精神

##### ○指導法の工夫(授業マネジメント、TT)

握力向上、投擲力講師(5年)、三中保健体育教員の乗入(6年)

##### ○外遊び、持久走月間、縄跳び月間

全員参加を推進する。

##### ○卒業までに25m完泳

水泳地域協力者との児童理解、指導の共有を図る。

##### ○給食の食育指導

栄養、マナー、丁寧な会話、片付けの指導を行う。

##### ○地域子供クラブ、家庭との連携

外遊びの活性化、生活習慣(睡眠・食事・運動)の向上。

「我見 離見 離見の見」「プロセスをほめる。努力をほめる。わずかな向上をのがさずほめる。心からほめて育てる。」  
「過去と他人は変えられない、自分と未来は変えられる」 「聞いたことは忘れ、見たことは覚え、したことは理解する」